

学校だより 高遠の子

伊那市立
高遠中学校
2022/6/15
No.4

中学校総合体育大会夏季大会南信地区大会

4日の卓球個人戦を皮切りに、夏の大会が始まりました。保護者の皆様には、これまでに会場への送迎をはじめとして様々にご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。現在、「南信一本化」といって、上伊那地区予選会を経て南信大会ではなく、南信大会からスタートするという形に大会が変わりました。これまで練習してきた成果、仲間と築き上げてきた信頼を大会に発揮できたことと思います。ありがとうございました。

壮行会 (6/10)



兵法の身において
常の身を
兵法の身とし
常の身とする事
肝要也
宮本武蔵「五輪書」



校内写生会 (5/30)



天候に恵まれ、写生会を行うことができました。今年度は校舎内外に目を向けて写生に挑戦しました。



1 学年「宿泊体験学習」

(5/25・26)

1年生の体験学習が行われました。1日目は雷雨も心配されましたが、計画通りの内容で体験学習を実施することができました。仲間との絆を深め、学級のまとまりを築き上げる2日間となりました。



マレットゴルフに挑戦



仲間と火を囲む



どんなメニューがあったのでしょうか



宿泊の一コマ



野外だからこそその味わい



手際の良さが光ります



2 度目の環境作業 (6/3)

いつの間にか伸びてくる雑草との闘いです。苗もポットへの移し替えがはじまりました。



生徒会 オンライン集会(6/8)



集会では、オンライン配信で、過ごしやすい高遠中学校について、今年の聖桜祭について考えました。

2学年キャリア学習 (6/6)

6月6日、人財育成コンサルタントの野澤君枝さんをお招きしてマナー教室を開きました。

～野澤君枝さんからのメッセージ～

…今回の講座では、マナーとは形式ばかりが優先されるのではなく、相手に関心を寄せ、気づき、考え、伝えていくものだとお伝えしました。仕事は世代の違う人と人との関係の中から生まれること、その中でマナー力は、コミュニケーションスキルの一つであり、人とつながる力であることをお伝えしました。



学校生活は社会に出るための準備する期間でもあり、得意なことを知る機会と同時に苦手なことを知る期間。好きなことを仕事にできたとしても苦手なことも当然しなくてはいけなくなる。職場体験ではその意味も理解につながる良い機会だと思っています。高い感性でいろんなことを学んできてくれることを願っています。…

3学年 修学旅行学習開始 (6/3)



「…新型コロナウイルス感染症の流行で、皆さんの中では、京都や奈良に行けるのだろうか、という心配があるかと思いますが、流行の様子次第、というところはあるものの、今のところは京都奈良への旅行を実施する予定でいます。中学校生活、一度の修学旅行が充実したものになるよう、学習を進めていきましょう。…」(3学年便り)

「修学旅行集会と係決めをしました。班長、係長ではないけど、任せっきりにならず、自分も積極的に活動したいし、係などのやるべきことをしっかりやって、みんなが楽しめるように準備から進めていきたいです。」(3年生生活記録)

校長講話 (6/1)

～蓮の花～

こんにちは。2、3年生は中間テストでお疲れさまでした。また1年生は、宿泊体験学習でお疲れさまでした。それぞれに成果と課題を見だし、これからの生活につながっていくことを願っています。

さて、今日は、かつてお話したことがある話ですが、命と心を守る話としてお聞きいただければありがたいです。

最初のスライドですが、4枚の桜の写真。一言で「桜」といっても色や形が異なることが見てとれると思います。タカトオコヒガンザクラとも違うことが分かります。次の写真です。大きな写真は堀米先生が撮ってくれました本校の池にある蓮（ハス）の花です。



となりの2つの花も蓮ですが、色も形も異なります。蓮といってもいろいろあることが分かるかと思います。

これは、2年前の学校だよりで紹介した阿弥陀経にある言葉です。「池の中に蓮華（ハス）あり。大きいこと車輪のごとし。青色の蓮華は青色の光を放ち、青色の陰をもつ。黄色の蓮華は黄色の光を放ち、黄色の陰をもつ。・・・諸々の色の花は諸々の光を放ち、諸々の陰をもつ。それらがあって美しく、香しく清らかである。」と

いう意味と受けとめています。

微	雑	白	赤	黄	青	大	池
妙	色	色	色	色	色	如	中
香	雑	白	赤	黄	青	車	蓮
潔	光	光	光	光	光	輪	華
	雑	白	赤	黄	青		
	陰	陰	陰	陰	陰		

これと比べてみてください。お経の中にはこのように「陰」のところが無いものも見たことがあります。

微	雑	白	赤	黄	青	大	池
妙	色	色	色	色	色	如	中
香	雑	白	赤	黄	青	車	蓮
潔	光	光	光	光	光	輪	華

生き方として、また人とのかかわりの中で、光ばかりで過ごすことはまずないと思います。また、人として光ばかりの生き方をしていることもないと思います。どの人も光の部分があれば、人には言えないような陰の部分、悲しみやつらさを抱えて生きています。そういう人だからこそ、相手の苦しみや悲しみを感じ、分かち合えるのではないかと思います。だから光も陰も両方あるからこそ、美しく深みのある、香しく清らかな人になるのではと解釈をしました。

かつてこの経を教えてくださいました方から、次のことばをいただきました。

光は確かにすばらしいものだが、陰もとても大事なものだよ

今日、みなさんには命と心の話としてお伝えしました。仲間とのかかわりの中で、自分自身の中で、この話が少しでも役に立てばと思っています。ありがとうございました。

*「微妙」(みみょう) 美しさや味わいがあるの意。